

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2011年 6月 1日【号外6号】

東北地方太平洋沖地震で鶴見川にも津波が溯りました

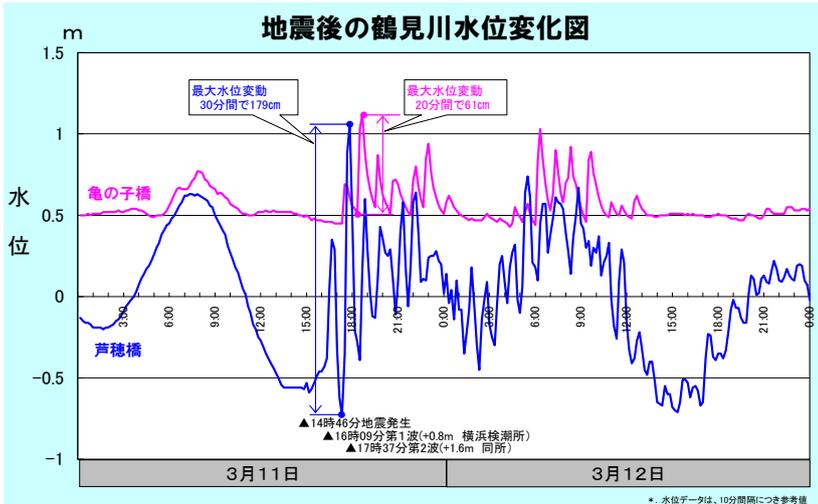
平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。この地震により宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強など、広い範囲で強い揺れが観測されました。

また、この地震に伴い、同日 14 時 49 分に「大津波警報」が発令され、東京湾内湾、相模湾・三浦半島にも大津波警報等が発令されました。

気象庁の発表では、横浜の第一波 16 時 9 分+0.8m、最大波 17 時 37 分+1.6mとなっています。この鶴見川でも津波が溯り、下の写真のように大きな波となっています。（写真は、npoTRネット提供によるもの）



鶴見川では津波の影響が芦穂橋、亀の子橋水位観測所にも現れています



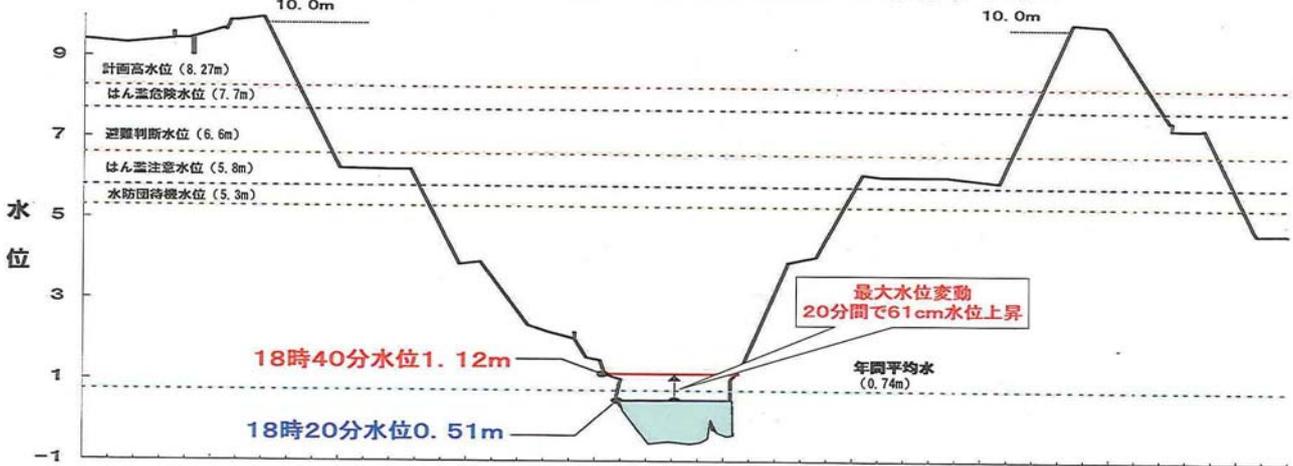
左の図は、3月11日から翌日にかけての鶴見川の芦穂橋、亀の子橋（亀甲橋）観測所で観測した、水位の変化をグラフにしたものです。

このグラフを見ると平常時の水位の変化と地震後の水位の変化は、大きく違うことがわかります。

このグラフで、JR新横浜駅付近にある亀甲橋にも津波が到達していたことがわかります。

下の図は、亀の子橋観測所の河川の断面図です。ここで最大61cmの水位変動がありました。

3月11日の亀の子橋地点の最高水位



政府の中央防災会議などで地震や津波の被害想定など見直します

内閣総理大臣を会長に中央防災会議と言う組織が作られており、そこで今回の東日本大震災が、想定していた地震をはるかに超える規模と被害であったことを踏まえ、これまで十分な備えがあったのかどうかということも含め、防災対策のあり方をもう一度しっかりと検証し、見直しを行っていくことになっています。

神奈川県、横浜市、川崎市などでも、過去の地震をモデルにするなど被害想定等の防災計画の見直しを行うことを表明しています。

東日本大震災の様子は次のホームページでご覧ください

国土交通省では、河川、道路、港湾、空港など多くの公共物を管理しています。今回、東北から関東地方の太平洋に面した箇所でも多くの被害を受けています。それらの箇所ではどんな被害があり、どんな対策を行っているのか関東地方整備局、東北地方整備局の各々ホームページで紹介されています。是非、ご覧ください。

国土交通省 東北・関東地方整備局のホームページです
 (東北) <http://www.thr.mlit.go.jp> (関東) <http://www.ktr.mlit.go.jp>